

令和5年度「全国学力・学習状況調査」の結果 －分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について－

区名	港区
学校名	大阪市立磯路小学校
学校長名	糸井 利則

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、令和5年4月18日（火）に、6年生を対象として、「教科（国語・算数）に関する調査」と「児童質問紙調査」を実施いたしました。

大阪市教育委員会では、保護者や地域の皆様等に説明責任を果たすとともに、より一層教育に関心をお持ちいただき、教育活動にご協力いただくため、各学校が調査結果や調査結果から明らかになった現状等について公表するものとしています。

本校でも、調査結果の分析を行い、これまでの成果や今後取り組むべき課題について明らかにしてまいりましたので、本市教育委員会の方針に則り公表いたします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部分であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。

1 調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2 調査内容

(1) 教科に関する調査

- ・国語
- ・算数

(2) 質問紙調査

- ・児童に対する調査
- ・学校に対する調査

3 調査の対象

- ・国・公・私立学校の小学校第6学年の原則として全児童
- ・磯路小学校では、第6学年 52 名

令和5年度「全国学力・学習状況調査」結果の概要

全国平均を1とすると、本校は、国語科0.96、算数科0.96という結果でした。国語科に関しては、平成27年度調査結果の0.78から年々上がってきています。また、算数科についても、全国平均に迫る結果となっています。平均無解答率に関しては、国語科では、全国平均4.8に対し、本校では5.3、算数科では、全国平均3.4に対し、本校では4.1となっており、どちらの教科においても無解答率が全国平均よりやや上回っています。

分析から見えてきた成果・課題

教科に関する調査より

〔国語〕結果を分析すると、「情報の扱い方に関する事項」「書くこと」については、全国平均、大阪市平均を上回りました。本校では昨年度まで、「書くこと」を研究の重点として取り組んできており、その成果が表れているといえます。令和2年度からは、全校児童文集「磯路の子」を発刊する取り組みも継続して行っており、その取り組みも成果の一つだと考えられます。

〔算数〕結果を分析すると、「数と計算」「データの活用」については、大阪市の平均を上回りました。計算に関する技能は定着しているといえます。「図形」については、大阪市平均と比べて約6ポイントの差があり、課題であると考えられます。今後も、課題改善に向けて取り組んでいきます。

学力向上に関して、ブロック化支援事業により、五色百人一首を購入するとともに、磯路暗唱詩文集を作成し、取り組みをすすめています。たくさんの言葉にふれることで、言葉に親しみをもち、語彙力を増やす取り組みをすすめています。さらに、五年生は、二月に漢字検定に取り組みます。漢字検定合格をめざし、漢字習得に向けて励んでいます。また、「学力推進事業」により大阪市教育センターから指導員に授業参観、指導等を行っていただくことで、教員の指導力向上に努めています。

質問紙調査より

2「就寝時刻」3「起床時刻」については、肯定的に答える児童の割合が大阪市、全国平均を上回っており、規則正しい生活が身についているといえます。また、7「自分にはよいところがあると思いますか」の項目において、最も肯定的に答える児童の割合が大阪市、全国平均を大きく上回っており、自己肯定感が高まっていることがわかります。さらに、7「将来の夢や目標を持っていますか」15「普段の生活の中で、幸せな気持ちになることはどのくらいありますか」の項目において最も肯定的に答える児童の割合が大阪市、全国平均を上回っていることから、将来について希望をもち幸福感を感じて過ごしている児童が多いことがわかります。これも、家庭・地域・学校でのあたたかい声掛けや見守りの表れだと考えられます。また、学習に関する質問項目においても、肯定的に答える児童の割合が、大阪市、全国平均を上回っているものが多くあります。学習することについての価値を見出し、主体的な学びをすすめることができていることがうかがえます。今後も、「主体的・対話的で深い学び」を目指した授業を継続してすすめていくことで、友だちと共に学び合い、高め合っていく場を積み重ねていきます。

今後の取組(アクションプラン)

国語科においては、「書くこと」を中心として指導をすすめていくとともに、基礎・基本となる力を育成しています。そのために、あらゆる教科で必要となる「語彙力」を身に着けていく取り組みを行っていきます。まず、一つ目の取り組みとして、令和2年度から取り組んでいる「五色百人一首」を各学級や学校全体で取り組む機会を多くもち、古から伝わる日本特有の言葉の美しさに触れるようにしています。今年度も、地域はぐくみネット主催で磯路小学校五色百人一首大会を開催します。（令和5年12月16日）二つ目に、『磯路小学校暗唱詩文集』を作成しました、数々の名文を暗唱し、言葉を習得する機会をもつようにしています。また、大阪市教育センターから指導員に来ていただき、授業参観を通して、授業改善に努めています。さらに、子どもたちのよさをより伸ばしていくことができるよう、教職員間での児童理解の場を多くもち、学校全体で、子どもたちの成長を見守っています。

【 全体の概要 】

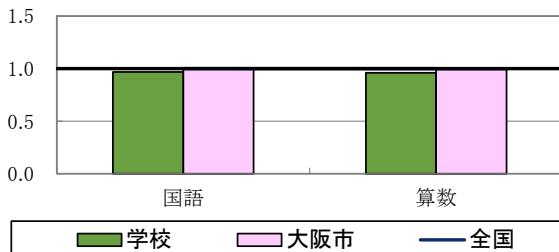
平均正答率 (%)

	国語	算数
学校	65	60
大阪市	67	62
全国	67.2	62.5

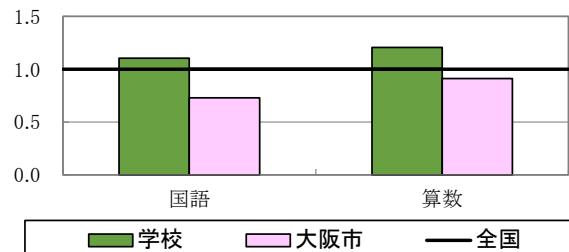
平均無解答率 (%)

	国語	算数
学校	5.3	4.1
大阪市	3.5	3.1
全国	4.8	3.4

平均正答率(対全国比)



平均無解答率(対全国比)



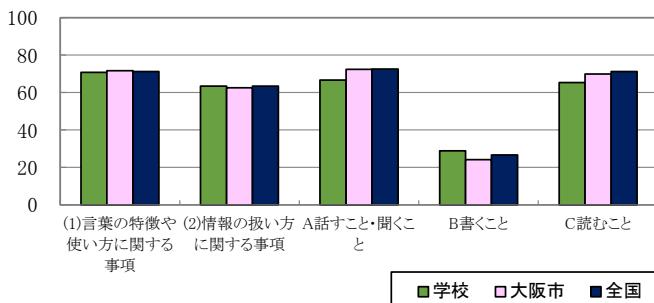
【 国 語 】

学習指導要領の内容	対象設問数(問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
(1)言葉の特徴や使い方に関する事項	5	70.8	71.7	71.2
(2)情報の扱い方に関する事項	2	63.5	62.6	63.4
(3)我が国の言語文化に関する事項	0			
A 話すこと・聞くこと	3	66.7	72.4	72.6
B 書くこと	1	28.8	24.2	26.7
C 読むこと	3	65.4	69.9	71.2

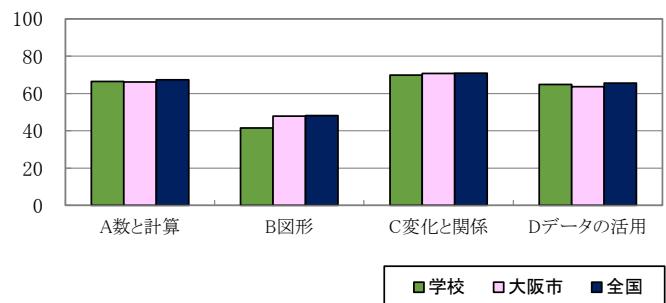
【 算 数 】

学習指導要領の領域	対象設問数(問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
A 数と計算	6	66.4	66.1	67.3
B 図形	4	41.5	47.8	48.2
C 測定	0			
C 変化と関係	4	69.8	70.8	70.9
D データの活用	3	64.8	63.6	65.5

国語 領域別正答率(学校、大阪市、全国)

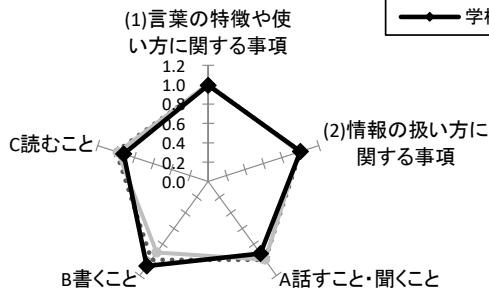


算数 領域別正答率(学校、大阪市、全国)



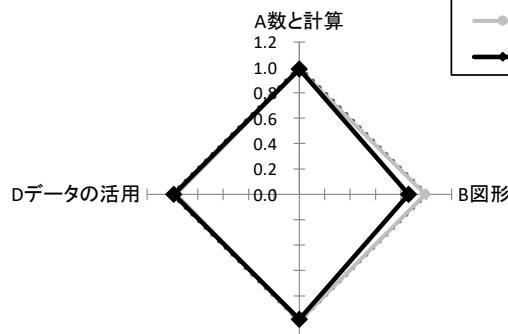
国語 領域別正答率(対全国比)

.....全国
—大阪市
—学校



算数 領域別正答率(対全国比)

.....全国
—大阪市
—学校

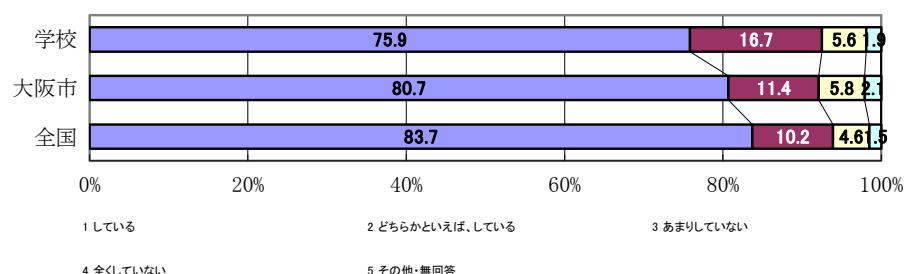


(3-1)

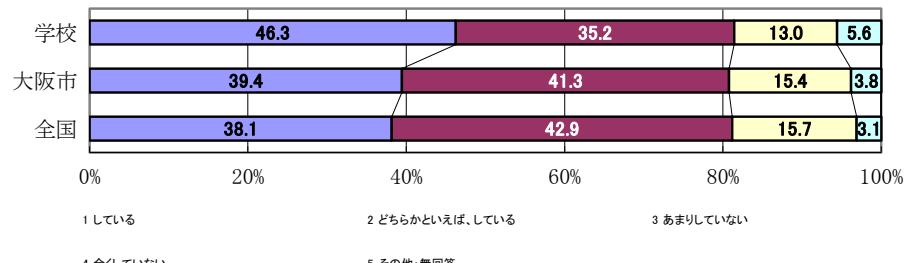
児童質問紙より

□1 ■2 □3 □4 □5 ■6 ■7 ■8

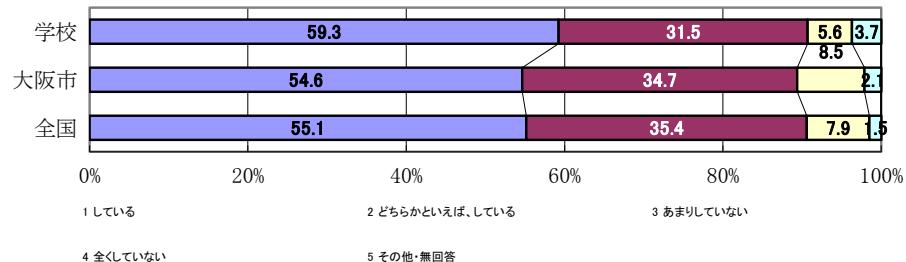
質問番号
質問事項
1
朝食を毎日食べている



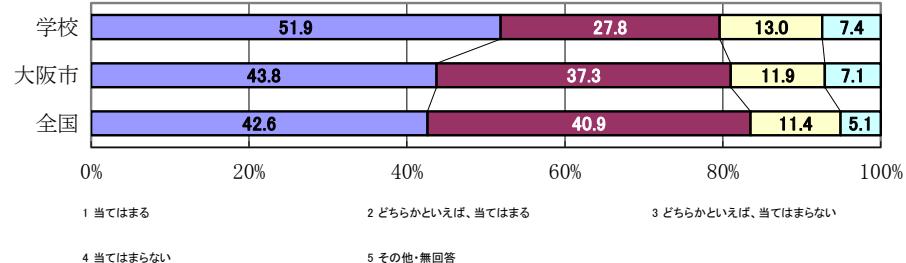
2
毎日、同じくらいの時刻に寝ている



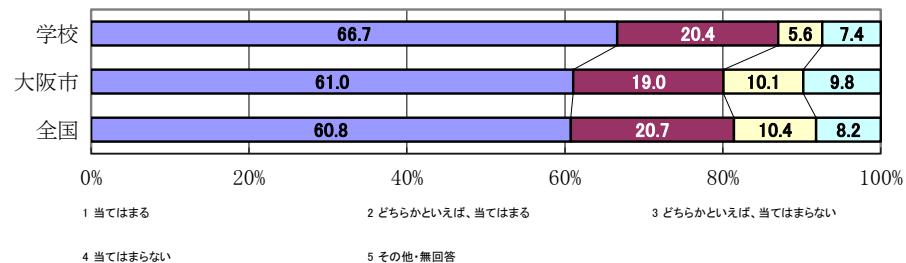
3
毎日、同じくらいの時刻に起きている



4
自分には、よいところがあると思う



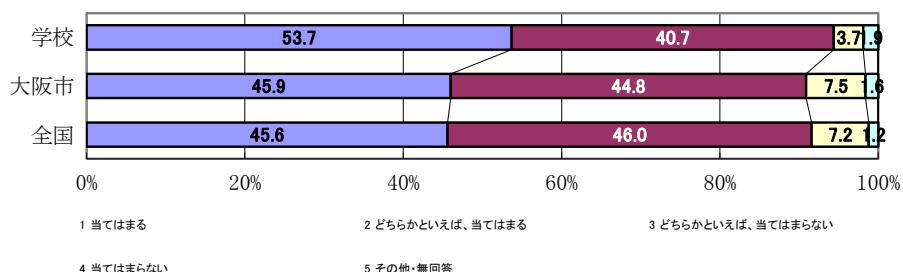
7
将来の夢や目標を持っている



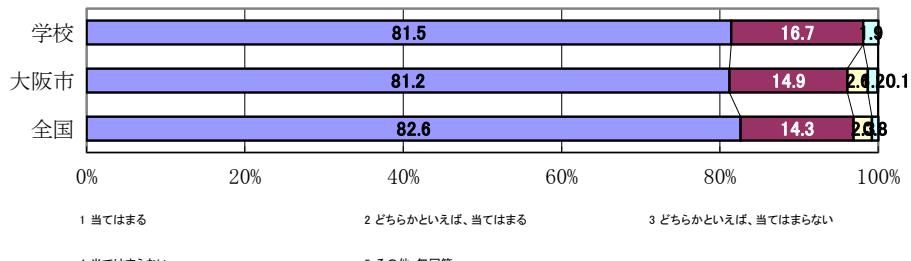
児童質問紙より

□1 ■2 □3 □4 □5 ■6 ■7 ■8

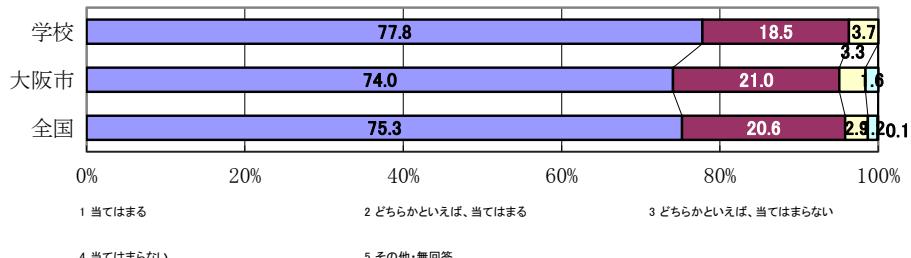
質問番号
質問事項
8
人が困っているときは、進んで助けている



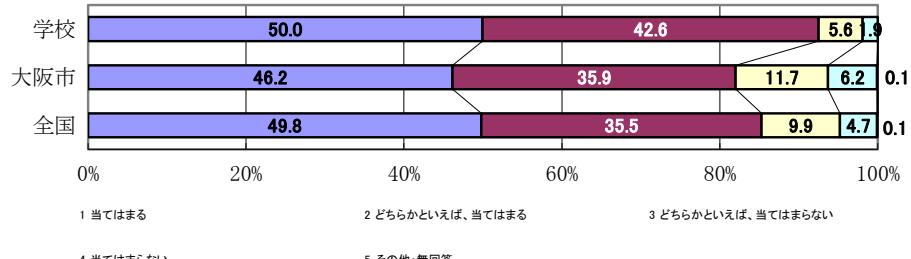
9
いじめは、どんな理由があつてもいけないことだと思う



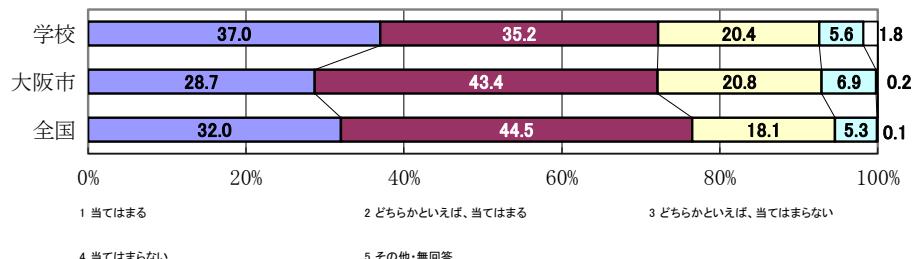
11
人の役に立つ人間になりたいと思う



12
学校に行くのは楽しいと思う



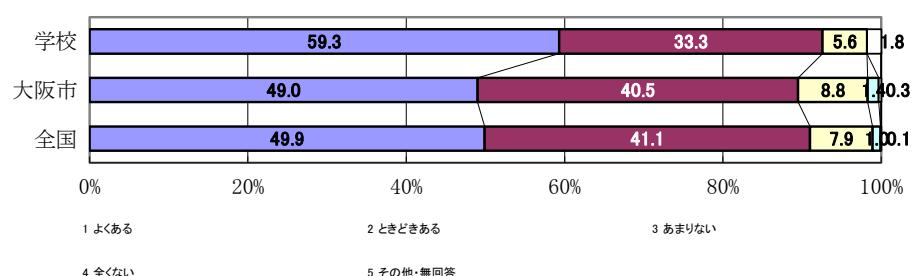
13
自分と違う意見について考えるのは楽しい



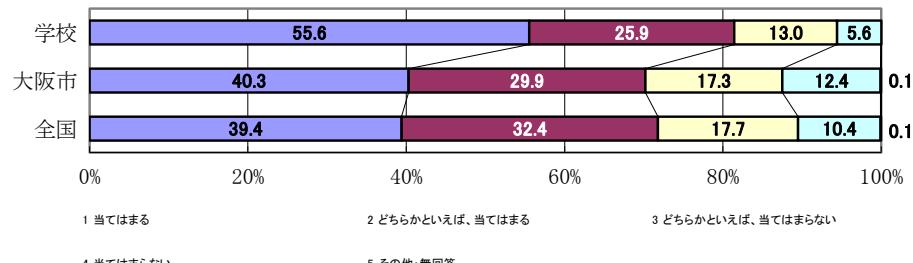
児童質問紙より

□1 ■2 □3 □4 □5 ■6 ■7 ■8

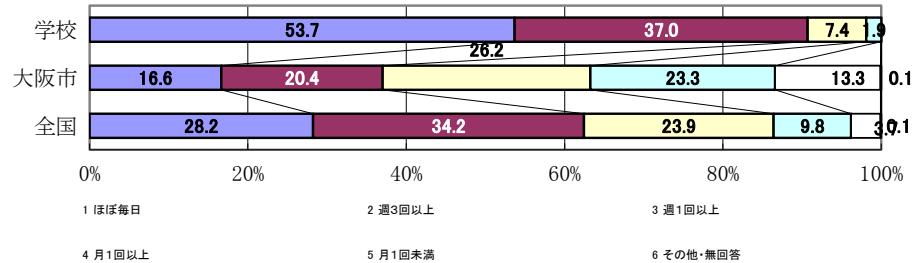
質問番号
質問事項
15
普段の生活の中で、幸せな気持ちになることはどれくらいありますか



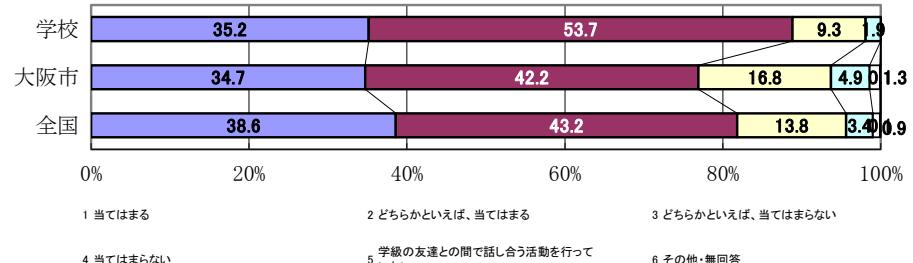
24
読書は好きですか



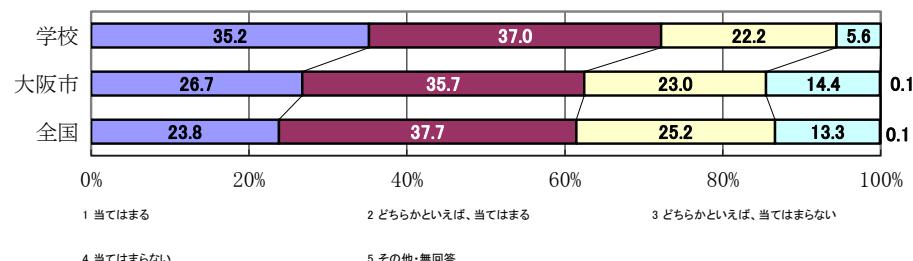
29
5年生までに受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用しましたか



36
学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか



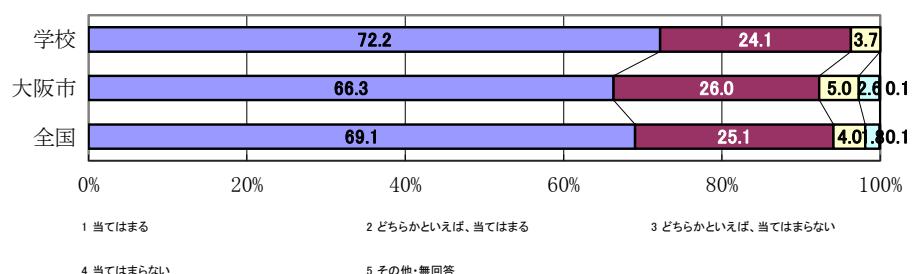
43
国語の勉強は好きだ



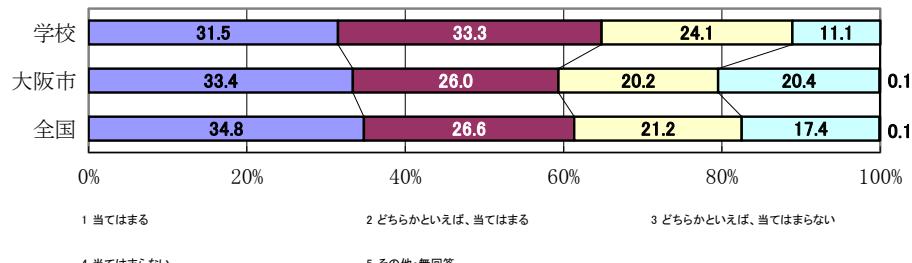
児童質問紙より

□1 ■2 □3 □4 □5 ■6 ■7 ■8

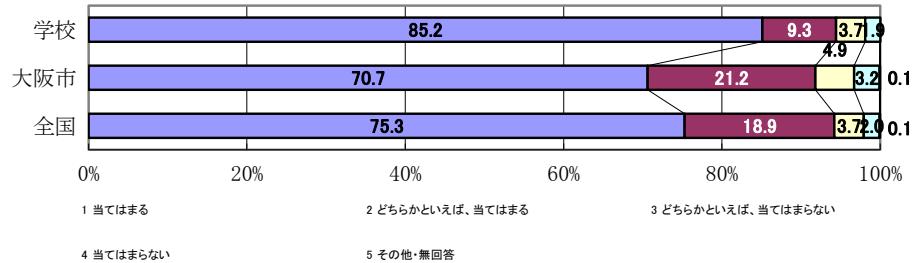
質問番号
質問事項
44
国語の勉強は大切だ



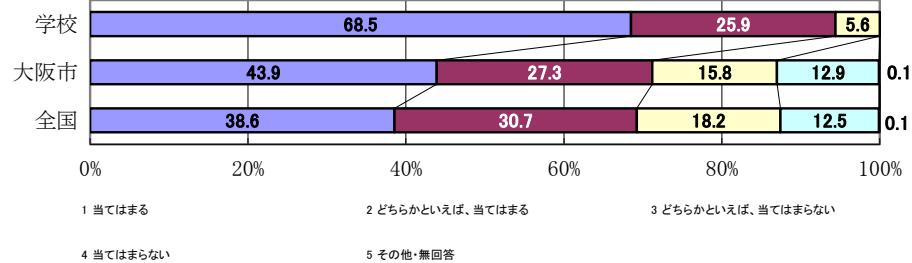
51
算数の勉強は好きだ



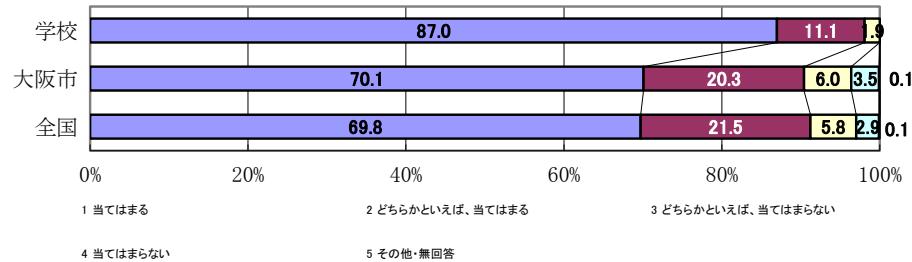
52
算数の勉強は大切だ



55
英語の勉強は好きだ



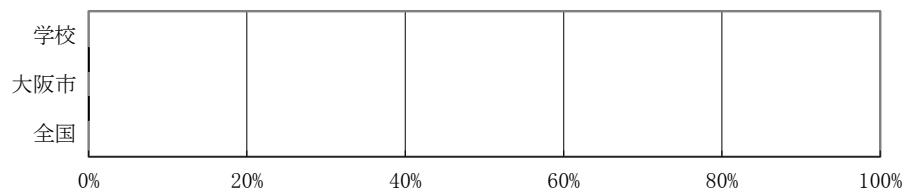
56
英語の勉強は大切だ

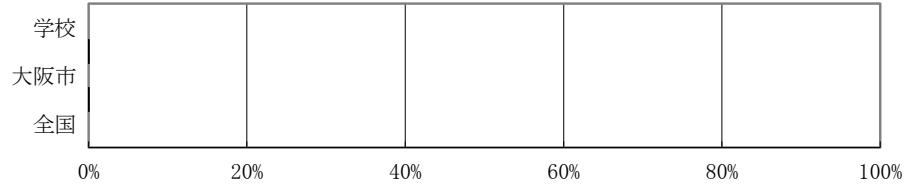


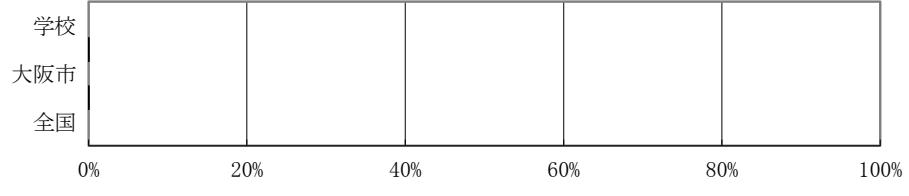
児童質問紙より

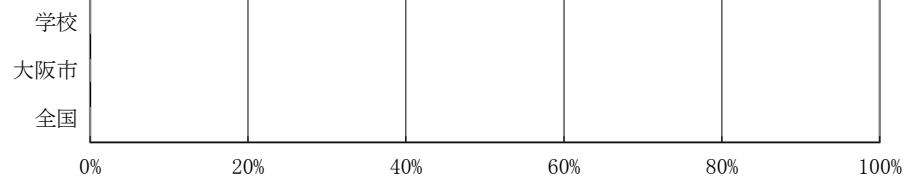
1 2 3 4 5 6 7 8

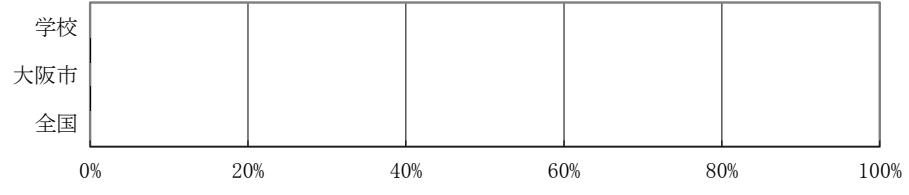
質問番号
質問事項











学校質問紙より

□1 ■2 □3 □4 □5 ■6 ■7 ■8 ■9 ■10

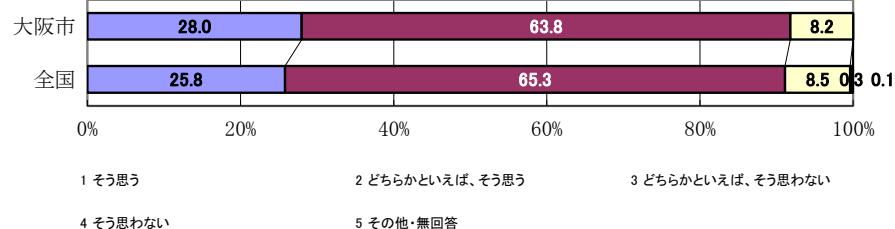
質問番号

質問事項

8

調査対象学年の児童は、熱意をもって勉強している

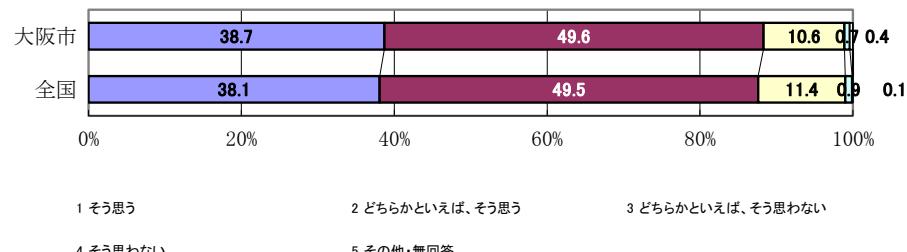
学校 「どちらかといえば、そう思う」を選択



9

調査対象学年の児童は、授業中の私語が少なく、落ち着いている

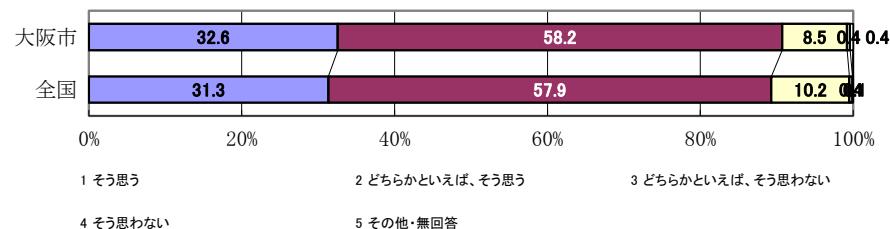
学校 「どちらかといえば、そう思う」を選択



10

調査対象学年の児童は、礼儀正しい

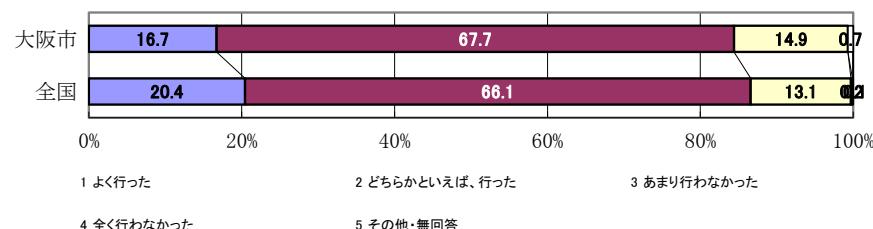
学校 「そう思う」を選択



11

調査対象学年の児童に対して、前年度までに、将来就きたい仕事や夢について考えさせる指導をした

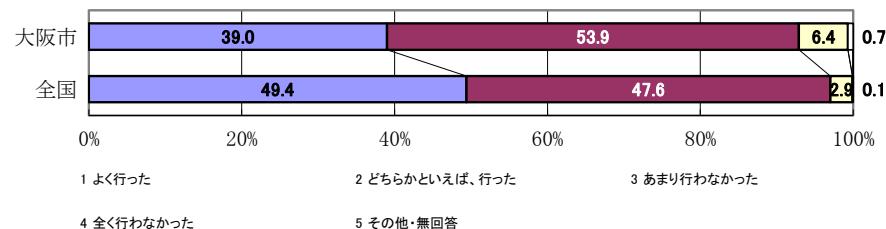
学校 「どちらかといえば、行った」を選択



12

調査対象学年の児童に対して、前年度までに、学級全員で取り組んだり挑戦したりする課題やテーマを与えた

学校 「よく行った」を選択



学校質問紙より

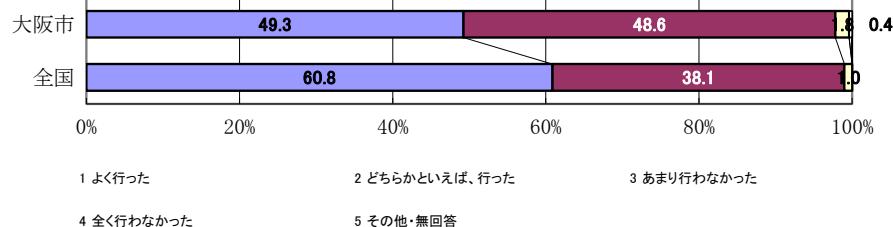
□1 ■2 □3 □4 □5 ■6 ■7 ■8 ■9 ■10

質問番号
質問事項

13

調査対象学年の児童に対して、前年度までに、学校生活の中で、児童一人一人のよい点や可能性を見つけ評価する(褒めるなど)取組を行った

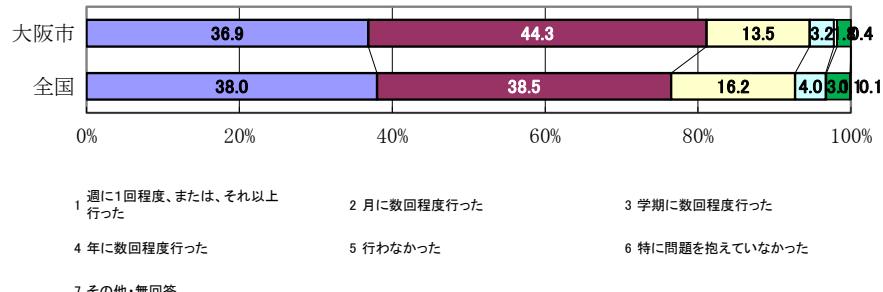
学校 「どちらかといえば、行った」を選択



14

校長として、よりよい学校運営を行うために、前年度に、教員が授業で問題を抱えている場合、率先してそのことについて話し合うことを行いましたか

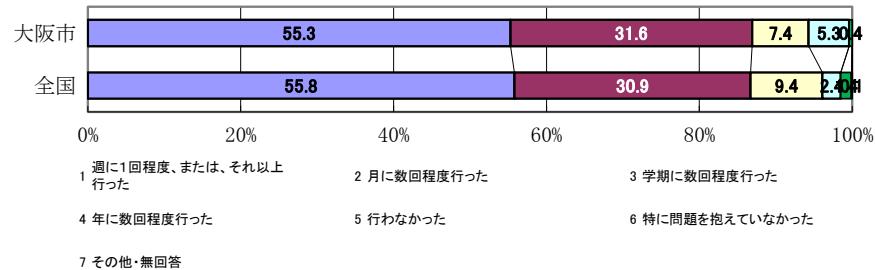
学校 「週に1回程度、または、それ以上行った」を選択



15

校長として、よりよい学校運営を行うために、前年度に、教員が学級の問題を抱えている場合、ともに問題解決に当たることを行いましたか

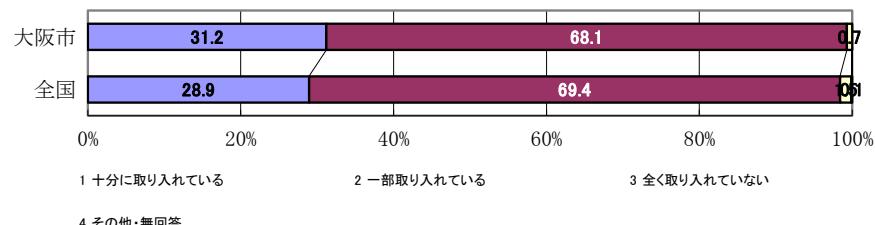
学校 「週に1回程度、または、それ以上行った」を選択



16

ICTを活用した校務の効率化(事務の軽減)の優良事例を十分に取り入れていますか

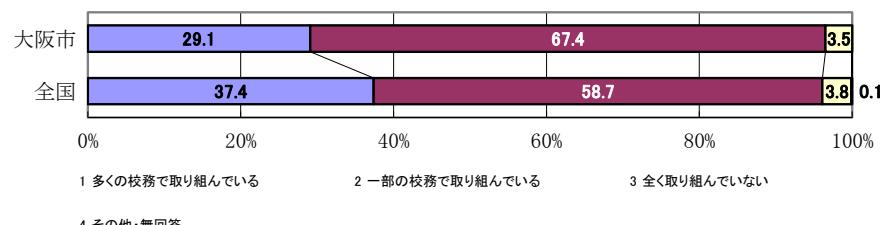
学校 「十分に取り入れている」を選択



17

ICTを活用した校務の効率化の一環として、クラウドを活用した校務の効率化(クラウドサービスを活用した保護者への連絡や、アンケートの実施、教職員等会議のオンライン化等)に取り組んでいますか

学校 「多くの校務で取り組んでいる」を選択



学校質問紙より

□1 ■2 □3 □4 □5 ■6 ■7 ■8 ■9 ■10

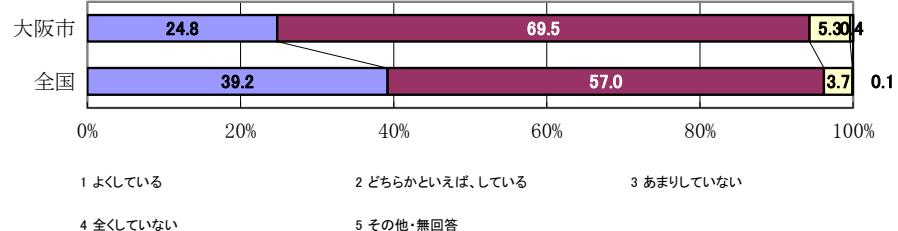
質問番号

質問事項

19

児童の姿や地域の現状等に関する調査や各種データなどに基づき、教育課程を編成し、実施し、評価して改善を図る一連のPDCAサイクルを確立している

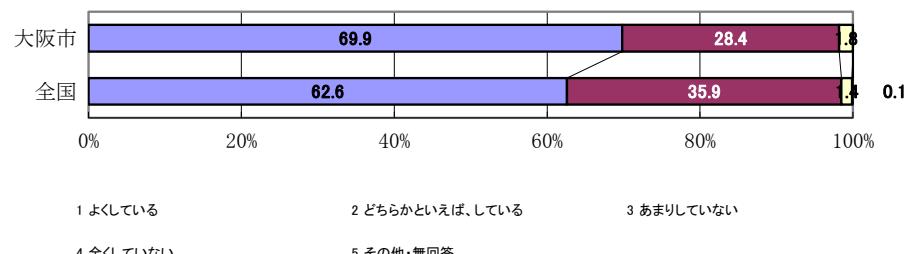
学校 「どちらかといえば、している」を選択



22

授業研究や事例研究等、実践的な研修を行っている

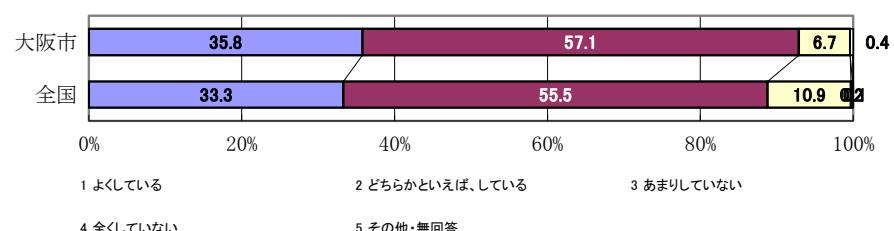
学校 「よくしている」を選択



23

児童自ら学級やグループで課題を設定し、その解決に向けて話し合い、まとめ、表現するなどの学習活動を学ぶ校内研修を行っている

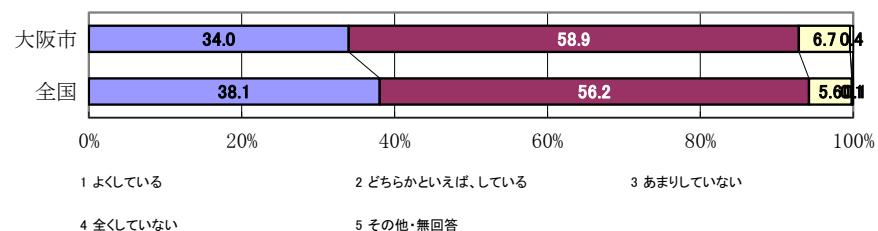
学校 「よくしている」を選択



38

調査対象学年の児童に対して、学級生活をよりよくするために、学級会で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法等を合意形成できるような指導を行っている

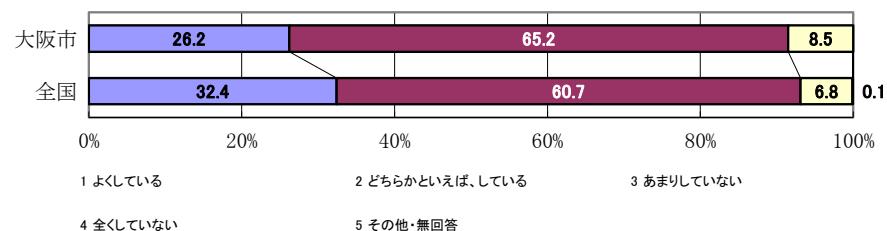
学校 「よくしている」を選択



39

調査対象学年の児童に対して、学級活動の授業を通して、今、努力すべきことを学級での話し合いを生かして、一人一人の児童が意思決定できるような指導を行っている

学校 「どちらかといえば、している」を選択



学校質問紙より

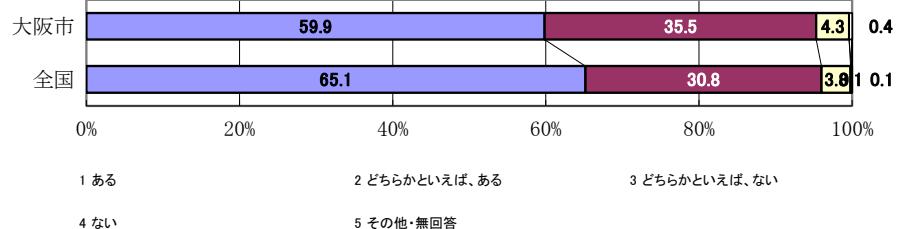
□1 ■2 □3 □4 □5 ■6 ■7 ■8 ■9 ■10

質問番号
質問事項

53

教員がコンピュータなどのICT機器の使い方を学ぶために必要な研修機会はありますか

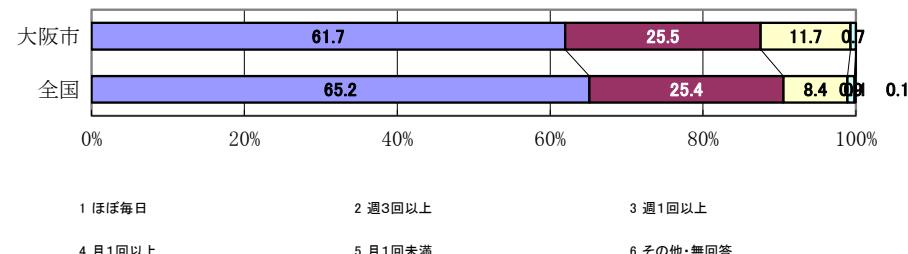
学校 「ある」を選択



55

調査対象である第6学年の児童に対する、前年度までのICT機器の活用状況として、あなたの学校では、児童一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器を、授業でどの程度活用しましたか

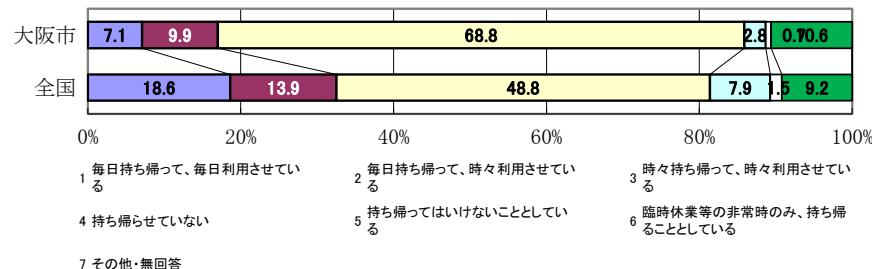
学校 「ほぼ毎日」を選択



63

あなたの学校では、児童一人一人に配備されたPC・タブレットなどの端末を、どの程度家庭で利用できるようにしていますか

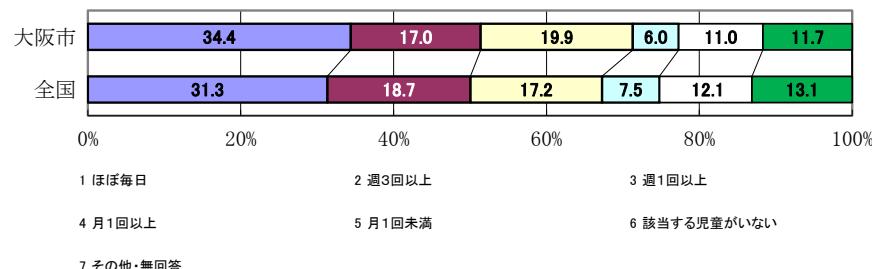
学校 「毎日持ち帰って、毎日利用させている」を選択



64_2

児童一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器について、特別な支援を要する児童に対する学習活動等の支援の用途で、どの程度活用していますか

学校 「ほぼ毎日」を選択



64_4

児童一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器について、児童の心身の状況の把握の用途で、どの程度活用していますか

学校 「ほぼ毎日」を選択

